

順天堂大学医学部附属順天堂医院 基礎研究医プログラム
(2026年度)

【基礎研究医プログラム概要】

順天堂医院の基本プログラムの研修内容をベースとして、2年目の選択科目期間の内4～5ヶ月の間所属する本学の基礎医学教室で各研修医の志望に合わせた研究を行い、本学の将来を担う physician-scientist を養成するハイブリッドな研修プログラム。

1. 臨床研修の目標の概要

- (1) 臨床研修においては基本プログラムに準じた研修で基本的な診療能力を身に付ける。
- (2) 大学病院の診療の特性をいかし基礎医学研究と臨床との関連を実際の臨床の場で学ぶ。
- (3) 臨床研修を通して、温かい人間性と広い社会性を身に付けて「仁」の心を体感し、病める人々への全人的医療を学び、この理念を忘れずに基礎医学研究を進められるようになる。
- (4) 基礎医学研修期間開始前には臨床研修の到達目標の達成度を評価し確認をうける。
- (5) プログラム修了後4年以内に基礎医学論文を作成する。これを研修管理委員会に提出する。

2. 研修プログラムの特色

- (1) 主に医学部の基礎医学研究者養成プログラム学生として基礎研究医を目指している者などを対象とし、基礎系の大学院入学と並行して本プログラムでの臨床研修を行いながら、スムーズに基礎研究医へ移行する。
- (2) 1年目は臨床研修の必須科目の研修を行いながら夜間の大学院講義、e-learningにより大学院単位を修得することが可能となっている。
- (3) 2年目では基礎医学研究を開始する前に臨床研修の到達目標の達成度を評価した後に、20週（16週～24週未満）の基礎医学研究の期間を設けることができる。
- (4) 選択科目期間においては附属病院での臨床研修も可能であり、それぞれの附属病院の特色を生かすことで幅広く基本的な診療能力を身に付けることができる。
- (5) 基礎研究の指導体制として、本学には国際的研究レベルを持つ次世代の基礎医学研究者の育成と臨床への橋渡し研究を推進する Physician-Scientist（研究医）の養成のためにプログラム（基礎医学研究プログラム）が平成24年度から整備されている。このプログラムを運営実行している基礎研究医養成プログラム室が中心となり、臨床研修を行いながら充実した指導が受けられる体制となっている。

3. 本プログラム修了後のキャリアパス

- (1) 基礎医学教室の大学院に引き続き在席し学位を取得します。
- (2) 学位の取得後は本学基礎医学教室に在籍し、優れたものは基礎医学教室の教員（常勤 MD-PhD 助教・特任助教）として採用され、研究を継続することが可能です。

4. プログラム責任者

【基礎研究医プログラム】西崎祐史（臨床研修センター本部 教授）

5. 臨床研修の研修科及び研修期間などについて

研修スケジュール(厚生労働省の定める週を超えた上で研修単位は月初日～月末日とする)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急部門			外科	一般外来	選択科
2年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科		基礎医学研究					選択科

※上記は基本的なローテーションであり、研修医により異なります

【1年目】

- 必修科目：内科（16週）、外科（4週）、救急部門（12週）、一般外来（4週）
 - (1) 内科は、総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科のうち、3科(各8週)を研修する。
 - (2) 救急部門は、救急科8週、麻酔科4週を研修する。
 - (3) 外科は消化器外科（食道・胃外科、大腸・肛門外科、肝・胆・膵外科）を研修する。
 - (4) 一般外来研修4週を総合診療科外来（プライマリケア外来）においてブロック研修で行う。なお、必修内科として研修する総合診療科研修期間中には「一般外来研修」の並行研修は行わない。
- 1年目選択科目4週は順天堂医院の診療科より選択し研修する。

順天堂医院の診療科：総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、精神科（メンタルクリニック）、小児科・思春期科、消化器外科（食道・胃外科、大腸・肛門外科、肝・胆・膵外科、消化器・低侵襲外科）、乳腺科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科・小児泌尿生殖器外科、脳神経外科、整形外科・スポーツ診療科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸科、放射線科、産科・婦人科、麻酔科・ペインクリニック、臨床検査医学科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、腫瘍内科

【2年目】

- 必修科目：小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、地域医療（4週）
 - (1) 必修科目の小児科および産婦人科は順天堂医院で研修する。
 - (2) 必修科目の精神科は順天堂医院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センターのいずれかで研修する。

(3) 地域医療及び在宅医療は、臨床研修協力施設にて行う。

● 2 年目選択科目

(1) 選択科（診療科での研修 12 週）※基礎医学研究を 20 週とした場合

- ・ 順天堂附属病院（順天堂医院、静岡病院、浦安病院、練馬病院、越谷病院、東京江東高齢者医療センター）の診療科より選択して研修する。
- ・ 基礎医学研究期間開始までに厚生労働省が掲げる研修到達目標を達成できるように、臨床研修センターが中心となり指導医と協力してスケジュールの配慮を行う。

(2) 基礎医学研究（20 週）

- ・ 期間は研修状況により変動することもあるが、16 週以上 24 週未満の範囲とする。
- ・ 研修開始時に届け出た、順天堂大学医学部・大学院医学研究科の下記の各教室で基礎医学研究を行う。

＜順天堂大学医学部・大学院医学研究科の各教室（2022 年 4 月現在）＞

解剖学・生体構造科学講座、神経生物学・形態学講座、生理学第一講座、生理学第二講座、生化学第一講座、生化学第二講座、薬理学講座、人体病理病態学講座、病理・腫瘍学講座、微生物学講座、熱帯医学・寄生虫病学講座、免疫学講座、衛生学・公衆衛生学講座、法医学講座、老人性疾患病態・治療研究センター、アトピー疾患研究センター、ゲノム・再生医療センター、医学教育研究室

医史学研究室、革新的医療技術開発研究センター、難病の診断と治療研究センター

なお、組織改編等で上記に変更があった場合は別に相談し対応する

6. 本学基礎研究医プログラムに関連した運用

- (1) プログラム開始前にあらかじめ所属する基礎医学系の教室を決定し、オリエンテーションを行う。
- (2) 2 年目の選択科目研修期間に前述の教室で 16 週以上 24 週未満（20 週を原則とする）の基礎医学研究を行う。
- (3) 基礎医学研修期間開始前には臨床研修の到達目標の達成度を評価し確認をうける。
- (4) プログラム修了後 4 年以内に基礎医学論文を作成する。これを研修管理委員会に提出する。
- (5) 臨床研修修了後に、プログラム修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路を関東信越厚生局に報告する。
- (6) 本学の基礎医学研究者養成プログラム学生は、原則として研修開始時に前述の基礎系の大学院入学し臨床研修を開始する。

7. 募集と選考

(1) 募集定員

2 名

(2) 募集期間

令和 7 年 4 月 1 日（火）～令和 7 年 5 月 16 日（金）【必着】（予定）

(3) 選考試験日

応募者と日程調整の上、6 月中に実施予定。

(4) 応募方法

基礎研究医プログラムに応募するものは事前に臨床研修センターに連絡を入れてください。次の書類を書留郵便にて臨床研修センターへ送付下さい。

①臨床研修医応募申込書（所定用紙）

・写真貼付（縦 4 センチ、横 3 センチ。肩から上。正装）

②小論文課題（所定用紙）

③推薦状（様式は任意）

- ・所属予定教室の指導責任者によるもの 1 通
- ・その他の推薦状があれば追加提出して下さい。

④卒業見込証明書又は卒業証明書

⑤成績証明書（出身大学発行のもの）

⑥C B T 結果（写し）

⑦今までの研究実績、発表や表彰実績（業績目録）（様式は任意）

※ 【注意】 ①②の所定用紙はホームページからダウンロードして下さい。

本学卒業生は、④⑤⑥は提出の必要はありません。

(5) 選考方法

(6) 順天堂医院の選考委員による選考（応募書類、面接）を行い決定する。

(7) 医師臨床研修マッチング協議会のマッチングとは別枠での選考となります。

8. 処遇

基本プログラムに準ずる。